

主な内容	
1面	「第26回中金杉ふるさと祭り」を終えて
2面	松戸市松戸市長のご挨拶・陸会会長 百瀬秀樹・上瀬誠一祭実行委員長
3面	設置部会報告・中金杉の皆様今年も ありがとうございます！・中金杉ふる さと祭り防犯部会からのご報告・中金杉 ふるさと祭り感想
4面	中金杉ふるさと祭りホコ天踊り及び 自治会踊りの会の報告・おにぎりつくり に参加して・強力な助っ人は供にアフリカ出身 ・スナップ写真(準備)
5面	スナップ写真(宵宮 本宮)
6面	スナップ写真(2点)
7面	ザリガニ釣り参加(2点)
8面	短歌 俳句 川柳・第12回中金杉自治会 コンペ・あとがき・よろしく・おくやみ



編集・発行 中金杉自治会 広報部

「第26回中金杉ふるさと祭り」を終えて



ふるさと祭り
実行委員長
高橋 昌男

昨年に引き続き実行委員長を拝命いたしました、3丁目の高橋昌男です。中金杉にお住いの方は勿論の事、各種団体様のお陰で第26回中金杉ふるさと祭りを終える事が出来ました。

開催にあたりましては自治会長鈴木様を中心に丁目会長様の指導の下、組長様には運営会議に参加して頂きスムーズに準備が出来たことを重ねてお礼申し上げます。例えば、私のわがままで26回もおにぎり調理をして頂いた事！お一人お一人におにぎりを食べて頂きました。

ケータリングサービスを使えばおにぎりは簡単に届けてくれる時代です。

しかし40年間災害支援ボランティアを微力ながら続けさせて頂いてる私としては、災害時にはケータリング会社も被災して営業が出来ない事も予想されます。平常時でしたら救急隊や警察官が電話一本で来てくれますが

「東日本大震災」に於いては岩手県大槌町へ支援に伺ったところ被災後1週間経っても支援隊が来なかったという事をお聞きしました。インフラは全て無くなった？薪を使って調理をしたとお聞きして、電気もガスも水も止まってる中で雪を溶かして水を得て、バーベキュー用の炭や材木を使い食事を作ったそうです。

長文に成りますが中金杉自治会では、大釜をはじめ調理道具も多数所有しています。1500個のおにぎり。中金杉では毎年作っているんです。おにぎりを担当された方々には災害時にご指導ください。豚汁の鍋もご覧になりましたよね！

かまどは幸田に有る日本中に大型焼却炉を設計製造販売のメーカー様協力の下、製作して頂きました。ガスも電気も無くても薪で調理が出来るんです。文化的な生活様式の現代の家では叶いませんが中金杉青年会館では可能です。神輿渡御を通じてこの祭りが出来る事に感謝申し上げます。宵宮での子ども達は大勢いましたね！

安寧を祈って



本宮では子ども神輿と大人神輿を広場に移動して前川宮司による神事が厳かに行われました。事故のない渡御を願って

玉串奉奠(たまぐしほうてん)の時に雨粒が落ちましたが何とか渡御を出来ると判断してスタートしました。

お囃子部会の皆様が手作りの山車に乗ってお囃子を最後まで奏でてくれました。

山車を引くお子さん
子ども神輿の担ぎ手！
大勢のお子さんが参加してくれました。

祭りハッピも全部貸出しました。
大人神輿も大勢さんが担いでくれました。

担ぎ棒に隙間無しです。
休憩所では飲み物・お菓子・おにぎり盛り沢山でした。

お一人お一人のお手伝いがあって無事に青年会館広場へ帰ってきました。

開館前の道路が歩行者天国になってから踊りの皆さんの出番です。
練習の成果が発揮されましたね。
午後4時 松戸市長が来られる時間でした！

秘書の方と一緒に来て頂きました。
今年就任されたので中金杉ふるさと祭りは初めてですね。

お子さん達と一緒に会話をされて記念写真もリクエストされて、私も一緒にパチリ。

ダラダラの長文にお付き合いありがとうございました。

実行委員会の皆様にお礼をさせて頂き、ペンを置かせて頂きます。

松戸市松戸市長のご挨拶



松戸市
松戸隆政市長

「第26回中金杉ふるさと祭り」のご開催、誠にありがとうございます。

開催にあたり、ご尽力をいただきました実行委員会や自治会の方々をはじめ、地域の皆様には心から感謝申し上げます。

この祭りが開催されることで、中金杉地域の更なる賑わいや、市内の経済の活性化にも繋がるものと、大いに期待をしております。本市におきまして人と人とのつながりを大切にする街づくりにより、全力で取り組んで参りますので、地域の皆様におかれましては、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



陸会
会長
百瀬秀樹

令和7年度「第26回中金杉ふるさと祭り」が10月19日(日)に開催されました。神事の際には、小雨が降り心配されましたが、神輿渡御が始まる際には止んでいました。(これも一重に皆さんの行いの良さ?) 昨年同様、山車及び子供神輿の子供たちが大勢集まってもらい元気に楽しく渡御をし、中金杉を「わっしょい」のかけ声で一色にしてくれました。大人神輿は、他地区の神輿の会の方々が応援に来て頂き、活気に満ちた神輿渡御となりました。担ぎ手が増えたことから、睦会の方を山車、子供神輿に配置したことから、安全面等も強化することが出来ました。又、神輿渡御のコース上でも、多数の応援を頂きました。特に第一休憩所(メイト中金杉)では、お年寄りの皆さんが、小雨に濡れながら、応援を頂き感動しました。最後に、今年のご協力により、安全にスムーズに無時宮入りすることが出来ました。この誌面をお借りしまして、関係者の皆様には感謝申し上げます。

おはようございます。
繋がった手作りおにぎり



上津誠一
祭り
副実行
委員長

今年の中金杉ふるさと祭り副実行委員長の御役目を頂きました、1丁目の上津誠一です。同じ御役目を20年以上前にもさせて頂きましたが、当時は近年のような大きな規模のお祭りではなく、神輿がメインのお祭りでした。

今回のお祭りではどうしてもおにぎり作りを続けるとの強い想いを持ち、新たに「おにぎり部隊さん」を募りました。お陰様で25名の方々に集まりました。おにぎり講習会では新たなメンバーにベテランも加わって親交を深めました。2丁目の相澤利之さんがリーダーとなり、適切なご指導の下で1500個をにぎる事ができました。懇親会場では美味しいというお声を頂き大変嬉しく思いました。懇親会場でのフリードリンクコーナーでは、組長さんのお子さんまで一緒に手伝ってくれたりとお活躍でした。最後に至らぬ点もあったかと思いますが大盛況のうちに終えることが出来ました事を、住民の皆様、関係者の皆様にお礼を申し上げます。



設営部会 報告



祭りの設営は、天候と作業人数に大きく左右されます。雨が降れば養生が必要になり、撤収時期も遅れます。作業人数が少なければ一人あたりの負担が大きくなります。今年も中金杉の多くの皆様に、積極的な設営作業のご協力をいただきましてありがとうございます。実行委員のメンバーの顔ぶれを拝見しますと、残念ながら毎年ほとんど変わっておりません。現状維持も必要ですが、そろそろ若返りも必要ではないでしょうか。お祭りのチームワークは万が一災害が発生した場合に、大きな力になると信じております。

(設営部会吉野 朝夫)

中金杉の皆様、今年もありがとうございました！

宵宮では、スマイリーズの皆様が出店を担当して下さい、昨年が増して子供たちも楽しそうでした。舞台では、大風が吹く中で、ミウさんの迫力のサーカスパフォーマンス、そしてプリンセスMANさんの夢あふれるバルーンプレゼントで、子供たちの喜ぶ声が町に響きました。

今年も実行委員長のご配慮で、中金杉の祭りを楽しみにしてくれている子供たちにお菓子をたくさん用意して頂きました。ありがとうございました！

本宮では、雨が降ったり止んだり、裏方も出演者も大忙しでした。でも恒例の盆踊りでは、雨に降られることなく、子供たちもたくさん輪に加わってくれて、老いも若きも集いあつて、声を掛け合ひ、楽しく踊れました。

続いて、菊の会の優雅な踊り。美しい歌声の「SonoSheet」。そしてなんと、今年は現役〇〇議長も参加して、楽しいパフォーマンストに大爆笑させて頂きました。

とんとんみーさんの勇壮な踊りで、またもや雨に降られてしまいました。なんとか抽選会まではやりきることができました。

最後に、安定のプロ司会、米山さん、高橋さん。裏方の舞台役員の皆様、本当に感謝です。

(イベント部会 中林 高敏)

中金杉ふるさと祭り

防犯部会からの報告

拝啓 秋冷の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、去る10月18日・19日に開催されました「中金杉ふるさと祭り」におきまして、防犯部会より以下の通りご報告申し上げます。

宵宮祭りでは、午後3時30分の開演1時間前より駐輪場が混雑し始め、子どもたちの熱気に包まれた活気ある雰囲気となりました。駐輪台数は約150台に達し、多くの方々にご来場いただきましたことを嬉しく思っております。

しかしながら、帰路において無灯火の自転車が見られました。事故防止の観点からも、今後は自転車の安全運転および灯火の徹底をお願い申し上げます。

本宮祭りにおける御神輿渡御では、1丁目の尾崎様をはじめ、消防団の皆様にも多大なるご協力を賜り、無事に警備を終えることができました。事故等もなく、安堵しております。

また、駐輪場警備および場内警備にご尽力いただいた各丁目の組長の皆様には、長時間にわたり裏方として祭りを支えていただき、心より感謝申し上げます。皆様のご協力により、今年も安全かつ円滑に祭りを終えることができましたこと、改めて御礼申し上げます。

(防犯部会 大塚 茂巳)

中金杉ふるさと祭り感想



4丁目 組長 高橋 元氣

私はこれまで仕事の関係で祭りに参加できませんでしたが、今回初めて参加し、地域の祭りがこれほど多くの人を笑顔にし、楽しませるものだと思いました。パフォーマンスの方々の方々の全力の演出、早朝からおにぎりを作ってくださった方々、長い道のりをお神輿で盛り上げた担ぎ手の皆さん、準備や計画を行った運営の方々など、多くの人が力を合わせて作り上げていることを実感しました。少子高齢化が進む中でも祭りが続けられるのは、中金杉に住む方々の人柄や底力、地元愛の表れだと思います。今後も祭りを継続していくには地域の皆さんの協力が欠かせません。ぜひ皆で、この地域を盛り上げていきましょう。これから貴重な一日でした。

中金杉ふるさと祭り ホコ天踊り及び 自治会踊りの会の報告

今年のホコ天踊りも中金杉自治会踊りの会始め「椿会大金平様」「久保平賀タンポ様」の協力を得、また、一般の方、子供たちも交え年々踊り手も増えたおかげさまで本当に楽しく過ごすことができました。

今年も市長賞を頂き頑張りました



心より感謝の気持ちとお礼を申し上げます。ありがとうございます。ごさいます。来年もよろしくお願い申し上げます。

今年も中金杉自治会踊りの会では枝豆祭りに踊りを頼まれたり、小金宿祭りの「さんさん踊り」のコンテストに出たりして「市長賞2回」「観光協会賞1回」と4年連続の賞は踊り手の皆さんの熱心な練習の成果のおかげだと思えます、本当に良かったですね。高齢者ばかりですがこれからがんばって踊りを続けていきたいと思っています。

(ホコ天踊り責任者

三浦 喜久江)

おにぎりづくりに参加して

一緒に地域貢献しようという友人の誘いに少しでもお役に立つならとおにぎり作りに参加しました。

子供が小さい頃、懇親会に参加してテーブルに当たり前の用に用意されていたおにぎり。

今回事前講習会に参加しておにぎりが中金杉の伝統であることや、これまで婦人部の方が中心になってどの様な思いで繋いで来てくださったのかを知りました。

更にその『中金杉伝統のおにぎり』存続に対する実行委員長始め役員の方々の熱い想いもお聞きすることができ、参加して良かったと思います。

必要数の割り出しから材料手配、当日の事前準備と沢山の方のご苦労が詰まったご飯を握るだけでしたが、現役シェフの相澤さん指揮の下、楽しくお手伝いさせていただきました。沢山の熱い思いが込められたおにぎりに感謝すると共にこの中金杉の伝統のひとつがいつまでも続く事を願っています。



(3丁目 松枝 弘子)

かわら版前号「この町のこの人」で掲載されたオレバラ・ベンさんはアフリカ西南部のナイジェリア出身でした。2丁目にお住いのジケさんはやはりアフリカのカメルーン出身で隣国同士。広報部はお二人のご家族の出会いの場所を提供しました。某月某日区画青年館の自治会事務所にて初対面。遠く離れた日本での出会いはあるという間に二人の間を縮めました。話題は広がりお二人家族にとってはとても楽しいひと時だったようでした。そこで今年のふるさと祭りの神輿を、二人並んで担いではとのお誘いが、今回の競演につながりました。最初は渡御の一部だけでもの話が、すべての行程を見事にこなされました。肩は痛いけれどもとても楽しかったとの事で、来年も是非とも参加したいと笑顔で答えてくださいました。

(広報部)

強力な助っ人は供に アフリカ出身



5丁目オレバラ・ベンさん
(左側)
2丁目ジケさん(右側)

スナップ写真(準備)





スナップ写真(曾宮)



スナップ写真(本宮)





スナップ写真(本宮)



次回66号特集のお知らせ
作品展 餅つきを予定して
います 奮ってご参加下さい



ザリガニ釣り参加

冒険山開放委員会

【根木内歴史公園】

里山で自然探索と
ザリガニ釣り大会

この企画を職場で子どもに教えてもらいました。我が子にザリガニ釣りの楽しさを教える良い機会だと思いましたが、加えました。当日は、北小金駅からバスで根木内歴史公園まで遠足気分で行きました。

職場の子ども達もたくさん参加していました。冒険山委員会の皆様は、元氣いっぱい、和氣藹々とした楽しい雰囲気でした。休みの日に学校以外で会う子ども達の顔は、いつもと違う顔付きでこれからザリガニ釣りに意気揚々としていました。私を見つけると、嬉しそうに話しかけてくれることがとても嬉しかったです。「昨年は、僕が大物賞だったんだよ」と教えてくれる子もいました。昨年の約30分で38匹?という

記録を聞き、そんなに釣れるのかなあと心配していましたが、いざ始めると5分に1回は釣れる感じでしょうか。ザリガニとの駆け引きは、365歩のマーチ。3歩進んで2歩下がる、の要領です。釣り上げる時が肝心らしく、水から上げる時によく注意をして引き上げます。冒険山委員会の方が終始側にいてこつを教えてくださいました。やっと釣れると嬉しいものですね。ザリガニをバケツに入れてじーっと覗いていると目が合います。

「するめ好きなの?」と聞いてみると、「好きだから釣られちゃったんでしょ」と言われているようでバツが悪い気がしたりして。気を取り直してまた釣り糸を垂らし・・・の繰り返し。あつという間に30分経ちました。記録は、6人くらいのチームで35匹。上位3位にも入りませんでした。たくさん連れて満足でした。

我が子が釣り上げたザリガニは、今、家で魚肉ソーセージを食べてモリモリ大きくなっています。

企画・運営をしてくださった冒険山委員会の皆様に感謝申し上げます。この地区の子ども達は、このような環境に恵まれ幸せですね。機会があれば、またぜひ参加させていただきます。

(小金北小学校)

綿引明日香

ザリガニ釣りに参加して

私は今まであまりザリガニ釣りが上手ではなかったのでも上手に釣れるかな不安でしたが、根木内歴史公園のザリガニはスイスイ釣れて楽しかったです。夏休みの素敵な思い出になりました。委員会の方がザリガニの釣り方を教えてくださいました。私のチームは負けてしまったけど私はあんなにザリガニを釣ったのは初めてでした。



今年の夏はとても暑かったので、5年6年もバス参加を選べると高学年の友達たちも気軽に参加できるかな?と思いました。来年はもっとたくさん釣れたらいいなと思います。

(小金北小学校)

5年 杉森 葵



夏空の下、娘と根木内歴史公園で開催されたザリガニ釣りに参加しました。餌や竿は予め用意されていて、参加者は四グループに分かれてチーム戦で競い合う形式。個人賞とチーム賞が用意されていて、子供はもうほろり親もつい夢中になってしまっただの盛り上がりでした。公園は今まで訪れた釣場の中で一番よく釣れ、桟橋も綺麗に整備されていて驚きました。委員会の方々が子供たちをよく見守ってくださり、釣り方を教えてくれたり、水分補給を促してくれたりと、細やかな気配りに感謝の気持ちでいっぱいです。娘は、「元氣いっぱいのおじいちゃんたちがたくさん話しかけてくれたことと、いっぱいザリガニが釣れたことが楽しかった」そう。親子で自然と触れ合いながら笑いあえた心に残るイベントでした。

(大金平 杉森 瑠理子)

短歌・俳句・川柳

● 短歌

・山車を曳く子ども等の声高らかに
ワッショイワッショイ町中響く
前棒に見知らぬ若者多くおり
揺れる神輿に未来を感じ
(5丁目 正ちゃん)

● 俳句

・高原の 秋桜街道 秋深し
(4丁目 信濃傍)

● 川柳

・大和の空 エアフォースワン 掻き回す
カレンダー 残り二枚で 慌ただし
(2丁目 ひろ子)

・地元より 日本が歓喜の 渦の中
臥新たれ 負けるな早苗 トランプに
(2丁目 トンボ)

・由伸が 見せたよ見せた 心意気
魂を 重ね合わせて 世界一
(2丁目 ぼけぼうし)

・新総理作り笑いが パーフェクト
クマモンも 肩もが狭い この季節
(4丁目 六方美人)

・アメリカの トランプカード ババニ枚
卒寿越え 医者診断 チョと変わる美人
温暖化 秋の七草 困ったな
(4丁目 ギヤマン)

・最近 冬ごもりしていた くまモンが
あるならば 鉄のメッキを 新総理
(4丁目 門 狗)

・ただ前を ひたすら見つめ 生きていく
(4丁目 虚空遊)



第12回中金杉自治会コンペ

11月18日、久しぶりに肌寒さを
感じた一日でした。年に一回の自治
会のゴルフコンペが成田フェア
フィールドゴルフクラブで開催され
ました。

優勝は初参加の
和氣邦夫さん(4丁目)
と参加メンバー



初参加
の中に若
手3人
(鈴木泰
成さん、
渡辺隆行
さん、高
橋英明さ
ん)が参
加された
のは嬉し
かったで
す。

準優勝は常連の渡辺利博さん(1丁
目)、3位は初参加の弘中一成(4
丁目)さんでした。若手3人が参加
したことで、今後さらに若手の参加
が増えて益々盛り上げていただける
ことを願っています。和氣謹諒と盛
り上がった今年のコンペは、やはり
和氣さんが優勝でした。おめでと
うございます。(広報部 石崎)

あとがき

今回のかわら版はふるさと祭り
特集となりました。

かわら版 第65号

発行元 中金杉自治会

掲載された記事・写真等の無断転載を禁止します。



祭りアケート



WEBサイト

(広報部 部長 石崎 建夫)

よろしく
1丁目



上津 啓 様
二階堂 晃思 様
内田 通雄 様
谷口 琴音 様

よろしく
2丁目

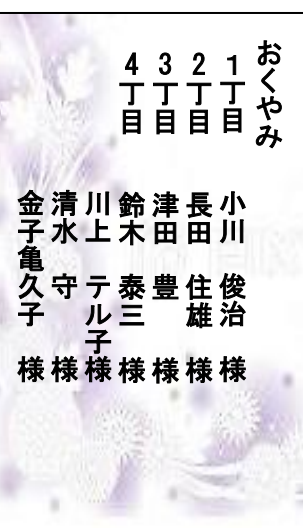
4丁目



須本 圭太郎 様
横田 咲花 様
篠田 祐岐 様
江村 大成 様
田中 翔也 様
長田 聖也 様
宮崎 泰一 様
遠藤 秀人 様
吉田 拓人 様

おくやみ
1丁目

2丁目
3丁目
4丁目



小川 俊治 様
長田 住雄 様
津田 豊 様
鈴木 泰三 様
川上 テル子 様
清水 守 様
金子 亀久 様

●かわら版への投稿ご提案・情報・苦情等は
下記の石崎建夫までご連絡ください。
電話 090-2437-4313 FAX 047(340)4006
メールアドレス <t-ishi@vanilla.ocn.ne.jp>

●「カラー」誌面がネットでも見られます。
<http://nakakanasugi.wixsite.com/kawaraban/>
「かわら版」のネット担当は広報委員久米勲です。
電話 080-6717-2824
kumeisao@gmail.com i-kume@nifty.com

●編集担当者 吉野、久米、橘、内藤(有)
三浦、石崎